



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

令和の年

2020年 年頭のご挨拶

賀正

理事長 中川 哲

(株) 昭和バルブ製作所 代表取締役

新年あけましておめでとうございませう。

米国のトランプ大統領の施策は世界中に大きな混乱を招いているように見えますが、実は世界の流れを先取りしているに過ぎません。米国は世界の警察から手を引こうとしています。既に世界の一強でもありません。東アジアにおいても支配権を強めようとしている中国と既存の支配者である米国が今まさに攻防を繰り広げている真最中です。韓国も世論を二分して対立と混乱が続いています。香港は中国の支配下で一国二制度というものの、力で大陸側に飲み込まれようとしています。日本だけが現状を維持し安定しているとはとても思えません。安倍政権は米国との同盟関係を重視しているとはいえ、中国との敵対は絶対に避けたい意向です。

このような情勢の中で我々バルブ業界の先行きを正確に読み取ることは難しいのですが、やはり中国勢の技術レベル上昇と大規模化には警戒を要すると思います。特に中小メーカーが大半を占める我々組合企業は技術と品質の向上を図りながら、きめ細かい市場への対応が必要ではないでしょうか。本年も世界は様々に変化していくと思いますが、中小故の強みを生かして、市場の変化に素早く対応していければ幸いです。

滋賀バルブ協同組合は様々な事業を計画しております。日本バルブ工業会との関連や2026年の組合事務所移転問題への対応もあります。また昨年度からは多くの賛助会員にも入会いただき活気づいております。本年は賛助会員の皆様も含めまして滋賀バルブ協同組合の事業と活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副理事長 濱口 浩一

(宮部鉄工 (株) 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございませう。

皆様方におかれましては、令和初の新春を恙なくお迎えのこととお慶び申し上げます。約200年ぶりの譲位による改元で、世は平成から令和に変わりました。このことは私たちに与えて90周年を迎えますが、これだけの長い間、弊社が存在できているのは、バルブやポンプの部品加工から始まり、その時々のニーズに応え、社員の成長と継承を繰り返しながら、なんとか皆さまのご支援を受けられてきた結果だと改めて感謝申し上げます。

昨年は、ラグビーW杯が世間で話題となり、BRAVE BLOSSAMSの活躍に多くの国民が熱狂しましたが、流行語にもなったON TEAMと言われるように、代表チームのメンバーが控えも含めた選手、コーチ、スタッフが多くなり、チームのために激しくプレーする姿に多くの人が共感したからだろうと思います。そして、ここまでチームが一丸となり、ベスト8という結果が出せたのは、明確な目標とそれを達成するための過酷な猛練習の中で自信をつけられたからと言われていると思います。翻って、弊社は、まだまだ発展途上の小さな企業ですが、ラグビー代表チームのような志をもって、バルブのものづくりを核に、創業100年もそのあとも、お客様から顧客満足で選ばれる企業であるべく邁進いたします。本年もよろしくようお願い申し上げます。

(株) オーケーエム 取締役会長 奥村 恵一

令和2年の年頭にあたり、滋賀バルブ協同組合の皆様は、気持ちも新たに新年を迎えられたことと思います。本年が皆様におかれましても輝かしき繁栄の一年でありますよう、お祈り申し上げます。

旧年11月に、私は当組合の台湾視察ミッションに参加させて頂きました。台湾油研様は、主に、機械メーカー向けの油圧電磁弁や油圧ポンプを製造されておりました。ゴミ一つ落ちていない非常に綺麗な工場で、作業員も勤勉に働いておられたのが印象的でした。

一方、バタフライバルブを製造されているパリエーバルブ様は、2019年12月に台湾証券市場のメインボードに上場されるとのことです。大きな窓ガラス越しに、工場見学ができるようになっており、禁油レベル1000のワークショップ、組立工場、機械工場に案内を頂き、かつ、新工場も近い内に建設されるとのこと、非常に勢いが感じられる会社でありました。

今後、バルブ業界の会社として避けて通れないことは、国連サミットで採択された「持続可能な開発」であるSDGsに着目する事が重要だと考えます。9月に、ニューヨーク国連本部の「気候行動サミット」にて、スウェーデン人16才のグレタさんが、声を震わせながら、「気候変動対策に背を向けた結果、我々の子供世代に環境破壊のツケを回している」と切々と訴えていました。彼女は、学校ストライキを一人で始めて、現在、世界150カ国以上の400万人のデモの先頭に立っています。各国の首脳達が、地球温暖化の対策を遅らせて、国益、企業の利益のことしか考えてないと訴えています。

一方、世界ふしぎ発見のミステリーハンターであった末吉里花さんは、2015年に一般社団法人エシカル協会を立ち上げました。エシカルの語源は、英語で倫理的なという意味です。エシカルという考え方は、自然と人と動物たちが、ちようど良いあんばいで共存できる世界を目指すというものであります。末吉さんは、SDGsの活動を通して、世界の緊急課題である、貧困・人権・気候変動の三つの課題を同時

に解決していくために、講演活動をされています。具体的には、個人個人が、レジ袋を使用せず、マイバックを持参したり、ペットボトルを買わず、水筒を持参したりする心がけが、非常に重要だと訴えています。このことが積み積もれば、SDGsに大きく貢献できると、各学校や企業に啓蒙しています。

我々バルブ企業においては、このような個人レベルの取り組みを後押しをする必要があります。さらに、会社のサプライチェーンを全面的に見直して、環境に優しい製品を創れるようにすることが、今後の社会貢献に繋がると思っています。

このSDGsの運動を続けていけば、絶対に会社プラスとなります。地域社会や国内市場だけでなく、海外市場においても、SDGsを積極的に進めている会社であると認知され、良い評価をされることとなります。今後バルブ会社が繁栄していくためには、そういうところにヒントが隠されていると思います。本年もさらに当組合が飛躍できる年にしていける年にしていこうではありませんか。

【令和2年組合行事予定】(5月まで)

令和2年1月24日(金) 18:00～	賀詞交歓会 「伊勢幾」
2月21日(金) 7:30～16:30	工場見学会 新東工業(株)
4月19日(日) 9:00～	春季組合ゴルフ大会
5月22日(金) 18:00～	組合通常総会 「やす井」 懇親会

【理事会】

令和2年1月24日(金) 16:00～17:20	「伊勢幾」
3月5日(木) 10:00～	「組合会議室」
4月7日(火) 10:00～	「組合会議室」
5月8日(金) 16:00～17:00	「やす井」



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセー

㈱ オーケーエム

代表取締役社長 社長執行役員

村井 米男

(日本バルブ工業会 理事 彦根支部長)

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。日本バルブ工業会におきましては、各支部を始め運営委員会や各種委員会、女史PJなど順調に活動を進めることが出来ております。彦根支部活動におきましても、滋賀バルブ協同組合様との共催活動を基本とし貴会員各位ご協力により、良い成果が出ております。今後も滋賀バルブ協同組合様との共同事業運用に力を入れますので、益々のご支援ご鞭撻いただきますように宜しくお願い申し上げます。昨年も台風などの災害が多くありました。彦根駅には、水害ハザードマップが置かれておりました。観光客の多い彦根にはぜひ必要なものと思われました。企業としても、水害、地震のハザードマップの活用が重要であり、企業の責任におけるBCP計画が要望されます。米中、日韓、香港、中東などの国際問題も解決されずに、心配事が今年に継続されたままです。企業活動はリスクを十分認識しておく必要があります。しかしながら、明るい話題として東京オリンピックが開催され、国民あげての行事として、気持ちが高揚されます。日本を応援し大いに楽しもうではありませんか。このような機会には、海外からの旅行者も多く来られます。国際化も進みますが、わが国の国際化への在り方や英語対応の不足なども問われると思います。SDGsによる経営の取組みが始まっており、2030年の到達目標に対するビジネス対応も広がっています。日本バルブ工業会では環境バルブ登録制度など環境活動を推進しています。まずは各社が何を出来るか考え、環境汚染が無く、環境負荷の低い製品開発をコツコツ取り組んで行くことではありませんか。この新年が良い年でありますことを祈念し、皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

『新年を迎えて』

㈱ 清水合金製作所

代表取締役社長 小田 仁志

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には日頃よりお世話になり、厚く御礼申し上げます。さて、昨年は五月に元号が令和になり、同月に当社の代表取締役社長に就任させていただきました。新たな気持ちでスタート致しました。世界的には米中貿易摩擦、イギリスのEU離脱や香港での反政府デモ等我々としても看過できないことが起こっています。国内に目を転じてみると、地震・台風・大雨といった自然災害での甚大な被害、消費税増税等がありました。

このような中で明るい話題を提供してくれたのがスポーツ界ではなかったでしょうか。渋野日向子選手の全英女子オープン制覇。一躍ゴルフ界のヒロインが誕生しました。まだ記憶にも新しい、ラグビーW杯での日本代表の史上初のベスト8進出。チームのキャッチフレーズ『ONE TEAM』は流行語大賞にもなりました。試合に出場した選手はもちろんですが、サブのメンバーや選手を支えるスタッフ全員が一つになったからこそ、成し遂げられた偉業ではなかったでしょうか。我々としても大いに学習すべきことだろうと思います。

今年2020年は、やはり東京オリンピックで大いに盛り上がるだろうと思います。選手活躍する姿、ひたむきに努力する姿等を想像しますと、今から非常に楽しみです。

今年の子年で干支は庚子（かのえ・ね）となります。調べてみますと、「庚子」には元々、『種子』の中に新しい生命がぎざし始める状態、変化が生まれる状態」という意味があるようです。何か新しいことにチャレンジするのに適した年とも言えるでしょう。

水道業界においては、改正水道法への対応、人口減少社会の進展の中、我が国の水道は大きな転換期を迎え、官民とも解決すべき課題が山積しています。このような厳しい経営環境ではあります。我々社員一同、ライフラインの一角を担う企業として、成果を出し社会的責任を果たしていかなければなりません。そのために『お客様に喜んでいただく』という基本に立ち返り取り組んで参りたいと存じます。最後にになりましたが、組合員の皆様の益々のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

『謹賀新年』

㈱ 大和バルブ

社長 伊東 利一

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には日頃からお世話になり厚く御礼申し上げます。令和最初の正月となりました。今年には待ちに待った2020東京オリンピック・パラリンピックの開催の年となります。節目の年になり、干支も最初に戻って『子』年となります。繁栄の象徴、ネズミに相応しい年となることをお祈り申し上げます。

2019年は、建築設備業界においては、オリンピック施設並びにその付帯施設、目白押しとなる都心の大型案件の納入ピークを迎え、さらにインバウンド需要に匹敵する全国的なホテル建設などが相成り、前回バブル期を超える程の活況を呈しました。しかしながらオリンピッククライヤーの今年の前半、特にオリンピック期間中の交通機関、高速一般道路の状況などにより、物流、デリバリーがどうなるのか、など不安要素を抱えることにもなります。しかし9月オリンピック終了後は、都心においては、いつきに納入が再開されるのではないかと思います。

世界に目を向けますと長引く米中貿易戦争、イギリスのEU離脱も現実味を帯びてきました。不透明要因を抱えていますが、産業界は自助努力によりその方向を探っているようです。私共も景気の波に洗われることなく、しっかりと進むべき方向を見据え進んで参りたいと思います。

昨年も台風による災害に見舞われ、各地で大きな被害が発生しました。昨今の業界のコスト重視の流れがありますが、私共、社会のインフラを担っているメーカーとして、水害、地震などだけに及ばず、必要な機能を有している製品をしつかりとユーザー様に説明して、そこにコストを掛ける重要性を伝えて参りたいと思います。

『働き方改革』と深刻化する『人手不足』に対しても、連動する問題として捉え、引き続きしっかりと取り組んで参ります。最後にになりますが、組合員の皆様のご健勝を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

『三十年の意味』

㈱ ミヤジマ

代表取締役社長 宮嶋 誠一郎

新年おめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございます。さて、昨年わたしを読んだ本の中で、もっとも心に残ったのは宮本輝さんの『三十光年の星たち』という小説でした。そこには「人間、どんな道を歩むにせよ、その道ひとすじに必死に努力し、師匠に叱られ続け、幾多の困難に遭遇し、三十年たつてやっと芽が出てくるのだ」というようなことが書かれてありました。

思い返せば私も平成元年にミヤジマに入社し、奇しくも昨ながちょうど三十年たった時期でしたので、この小説に出会ったことに運命のようなものを感じました。祖父が始めてくれた「鍛造」という仕事に就き、右も左も判らぬまま同業他社を見ては自社との差にショックを受け、設備投資をしては失敗し、社員のためと思っていたことが裏目に出るなど、まさに反省つづきの三十年でした。しかし宮本輝さんの小説に書かれてあることが真実だとすれば、今までの三十年は決して無駄ではなかったのかもしれない、と勇気づけられました。

「人生は一度限り」です。今までの三十年を生かし、「鍛造」という仕事を通じ、少しでもお客様、世の中のお役に立てるよう、今年も社員と力を合わせ、努力していきたいと思ひます。本年も社員一同、どうか宜しくお願い申し上げます。

祝 中小企業庁長官賞授与

中川 理事長



令和元年十一月二十一日開催の「中小企業等協同組合法施行70周年」記念式典で、当組合理事長中川哲氏に永年の組合功労者として「中小企業庁長官賞」が授与されました。



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセージ 青年部

青年部 部長 松尾 直樹

(松尾バルブ工業 ㈱ 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、本年1月より弊社代表取締役社長を務めさせて頂くことになりました。まだまだ未熟者でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、社長交代を迎えて改めて社長像やリーダー像について考えました。社長の仕事とはどのようなものだろうか、社長の役割とはどのようなものだろうかというのを考える中で、「決断ができる人」、「経営方針を示す人」、「リーダーシップが取れる人」、「会社のルールをつくる人など」が一般的に挙げられます。しかし、なかなかしつくりこないなあと思っている中で、僕が中学生時代に週刊少年ジャンプで連載されており、ゲームのドラゴンクエストの漫画でもある「ダイの大冒険」の単行本を子どもと一緒に読んでいた時に腹落ちするような場面がいくつか描かれていました。

その漫画の中の大魔導士マトリフのセリフです。「勇者は何でもできる。だが力だったら戦士の方が上だ。魔法だって魔法使いにやかなわねえ。なんでもできる反面なんにもできないのが勇者って人種さ。だが、勇者にも一つだけほかの奴には真似できない最強の武器がある。勇者の武器は、勇気だよ」という言葉です。また、主人公ダイは「一番強いやつ一人だけが本物の勇者だなんておかしいよ。ただ勇気とかが強い奴の事じゃない事だけは確かだよ」と言っており、またノヴァという勇者を目指していた少年が言っていたセリフでは、「真の勇者とは自らよりもむしろ…みんなに勇気を湧きおこさせてくれる者なんだ」と。

社長はあれもこれも多くの仕事を幅広くこなしている人も多いと思います。器用貧乏になっっている場面もあります。しかし、社内の仕事や作業において、本職の職人さんやその部門の専門の社員さんにはかないません。社長の仕事とは、勇気をもって社長しかできない決断し仲間を正しい方向に導くこと。そして社長が勇気を持っていてだけでなく、社員さん自身の心の中の勇気を湧き起こさせ、個々の未来と会社の未来を切り拓く力と呼び起こすことが社長の仕事だと思いました。未来を思い描き、共感してくれる仲間を増やしていくことが最大の役割です。社員さん、お客さん、仕入先さん、協力会社さん、金融機関さん、そして家族が共感してくれるような方針を指し示す責任が生まれます。会社と一緒に働く十人十色の人財について、色々な性格や個性、それぞれが置かれている環境や育ってきた環境そして人格を受け入れた上で力を発揮させてあげるような経営、すなわち「人を活かす経営」ができるかどうか。社長は全社員の力を結集して混沌とした時代を切り拓くこと。このようなことを改めて認識して社長としての役割をまっとうし一生懸命取り組みで参りたいと思います。

(追伸) ちょうど一年前には体重が70kgでしたが、毎月30〜50キロ走ったお陰で今では63kgまで体重が絞れました。40歳となつて20数年ぶりに63kgの景色を見ることができました。かなりの達成感です。今年はハーフマラソンにチャレンジして年齢と共に痛くなる関節痛をねじ伏せ、「まだまだいける」ということを実感したいです。

副部長 清水 康裕

(清水工業 ㈱ 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。今年はいよいよ東京オリンピックの年となります。去年のラグビーW杯での、海外からの旅行客の多さにも驚きでしたが、それ以上になるのは間違いありません。なんと一競技ぐらひは家族で観戦したいと思っています。

さて、そんなオリンピックの後・・・、なんて呑気な事を言っている場合ではなく、すでにもう日本は社会構造が変わりつつあります。人口がどんどん減っていきます。地域がどんどん減っていきます。会社もどんどん減っていきます。これから社会をどう形成して行くのかという事に真剣に取り組んでいく必要があります。必然的に社会として無駄なところを人々を割く余裕がなくなつてきます。少ない人でどれだけ効率的に社会を動かせるかという事が、会社単位ではなく業界単位、地域単位で問われてきます。

す。そこに対して、何を取り組んでいくのかという事が滋賀バルブ協同組合をはじめとした、各業界団体またそこに関わる人の使命となつていくのではないのでしょうか？無駄も時に人の成長には重要なものですが、その無駄への向き合い方をより真剣に考えていく必要があると思つています。そして、方針が決まれば、あとはひたすら行動行動行動です。失敗してもいいのです。社会の為に、地域の為にみんなが仕事をし、会社や業界を作り上げていけたら楽しいなと思います。

今年もワクワクしながら仕事をしていきましょう！

清水鐵工所

代表取締役 清水 智弘

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。2020年も新たな気持ちで迎えることが出来ましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は平成最後の年としてスタートし、5月には新元号「令和」が始まる節目の年となりました。昨年のラグビーワールドカップでみえた「ONE TEAM」や本年開催される東京オリンピック、パラリンピックの話題を挙げると、他の皆さんと挨拶が被るかもしれませんが、今年の年頭のご挨拶は、ある講演会で教わったことを紹介させていただきたいと思ひます。時代や制度、仕組みなど様々な「変化」が起こるところには「チャンス」が訪れると言われます。「CHANGE(変化)」を「CHANGE(チャンス)」に変えるために、CHANGEの「G」を「C」に変えればCHANGEに変わります。そのためには「G」の文字の中にある「T」を取れば「C」になる。その「T」は「TROUBLE(厄介ごと)」である。つまり、変化の中にある厄介ごとを取り除いてやれば、それはチャンスになると、ある講演会で聞き非常に印象に残っています。今年は、我々の生活や仕事を取り巻く環境などの様々な変化に対応すべく、そこに潜んでいる多くの困難(厄介ごと)を、今日まで当社が培ってきた技術と経験と知恵を活かすことにより解決へ導き、チャンスへと変えるそんな一年にしたいと考えています。そして、今後も清水鐵工所が活気に満ち溢れた会社であり続けるよう努力してま

ミヤジマ

常務 宮嶋 俊介

新年明けましておめでとうございます。

厳しい今日ながら、相変わらずスポーツニュースばかりに目がいく私は「横浜FC昇格に導いた俊輔 カズ」の存在に刺激に不屈の復活劇「ただで言う」という見出しが目にとまりました。13年ぶりに横浜FCがJ1昇格を決めたわけですが、その影には中村俊輔選手の復活劇があり、さらにその影には三浦カズ選手の背中があつたということが書いてありました。今年でなんと52歳の三浦カズ選手ですが、練習では常に先頭を走るその姿に、中村選手だけでなくチーム全員が大いに刺激を受けたようです。

誰もが年をとりますが、年とつても変わらずできること、それは「姿勢」ではないか、と今回の記事で改めて感じました。レベルは全く違いますが、私も三浦カズ選手のように、いくつになつても「ひたむきさ」は衰え知らずで、むしろ伸びるいつぱうで、若いものに影響を与えられる人間になりたい、と思ひました。

本年もよろしくお願いいたします。



本年もよろしくお願いします

青年部



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセージ

賛助会員

【掲載順不同】



近江化学工業 株式会社
代表取締役社長 竹下 元

新年明けましておめでとうございます。
昨年より滋賀バルブ協同組合へ賛助会員として入会させて頂きました。改めまして今後とも宜しくお願い申し上げます。

当社はバルブ専門の会社ではなく、もともと製造・販売から始まった会社です。炭酸カルシウム以外にも酸化カルシウム、水酸化カルシウムといったカルシウム製品を扱う中で、カルシウムを充填剤として扱う樹脂・ゴムの分野にも事業進出し、現在はバルブ関係のゴム部品の仕事において組合員の方とお仕事をさせて頂いております。

昨年は会社にも私個人にとっても大きな転換となる年でした。3月に創業65周年を迎え、そのタイミングで社長交代も敢行し、2代目社長の父より代表権を受け継ぎました。私の年齢もちょうど40歳になる年という何となくキリの良いタイミングでした。

夏には当社としては23年ぶりの新築で本社工場の敷地内に開発研究棟を立ち上げ、ゴム関連の工場である醒井工場では木造倉庫を安全、品質の問題から建て替えをしました。景気の良かった数年前から社員と約束していた海外への社員旅行も20数年ぶりに実施しました。景気が落ち込む中で実施するか悩みましたが、従業員の皆さんとの約束でしたし、私の信念でもある約束厳守の気持ちから実施するに至りました。銀行さんの若手経営者の会の代表幹事の役もちょうど回ってきて、しかも2つ同時に引き受けたものですから、1年ドタバタ

でした。あつという間に1年が終わった気がします。

ここ数年は世の中の景気とともに当社も順調に進んできていたのですが、米中の貿易戦争が激化し始め、日本の景気にも陰りが出始め当社も例外なく景気の波に飲まれ、昨年は厳しい1年となりました。とは言っても、世の中の景気に流され、そのままというわけには行きません。私個人的には負けず嫌いな性格ですから、今年は絶対に挽回すると決めています。昨年の不調の中でも情報収集、試作、開発は手を緩めずやってきました。すぐに芽の出るものは少ないですが、必ず幾つかは芽が出ると信じております。主製品のカルシウム製品はもちろん、組合員の皆様とお取引のあるゴム関連事業も益々拡大していく次第でございます。賛助会員ではございますが、昨年まで以上にご愛顧賜りますよう、本年も宜しくお願い申し上げます。

琵琶湖機械工具 株式会社

代表取締役 生駒 広一

新年あけましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

令和の幕開けとともに、弊社にとりましても多くの変化がございました。働き方改革関連法の施行に伴い、営業時間の変更や有給休暇の取得方法など、経営者にとっては今までにない見地から経営をする必要がございました。

事業継承の完遂と同時期に法案の施行がありました。弊社にとりまして、幸運でございました。それらは、今後おきることのない社会の変化にも対応できる人材の確保につながるのではないかと考えております。

そしてその人材こそが令和の意味することく希望に満ち溢れた新しい時代を切り開いてくれると信じております。

今後、社員一丸となりまして社業発展のため決意を新たに専心努力いたす所存でございます。

一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。
げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 水研 取締役社長 藤本 俊一

新年明けましておめでとうございます。滋賀バルブ協同組合の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

昨年は振り返ってみますと、税制改正として消費税率が8%から10%に変わり、働き方改革も一部が施行されました。我々水道業界でも水の需要減少や水道施設の老朽化などの水道基盤強化に対応するため改正水道法の施行がスタートしました。世の中の仕組みが直面する課題に合わせ変化を見せる中、元号が平成から令和へと変わり、新たな時代になる機運を感じております。今年は2013年の招致決定以降、準備を進めてきた東京オリンピックが開催されます。日本人選手の活躍が今から楽しみです。ありますが、前回大会の時に負けないぐらいの活気に満ちあふれる年になると良いですね。

今年の干支は、庚子（かのえね）です。子年は皆様ご存じの通り、十二支の一番目、新たなスタートとなります。また、ねずみは繁殖力の高い動物。風水でも、子孫繁栄を象徴する存在です。この様に2020年にはポジティブなイメージがあり、まさに令和の駆け出しとしていい1年となりそうです。

さて、弊社は来る4月に創立五十周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様方のご支援とご愛顧の賜と心より感謝いたしております。

そして私たちは、本社を滋賀県に移転して二十年になりました。この度新たな分野へ挑戦していく決意で昨年より滋賀バルブ協同組合の賛助会員に参加させていただきました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

創業以来、水道事業に携わる一員としてライフランを守るため、常に新しい製品、新しい工法に目を向け、オリジナル製品の開発に全力で取り組んで参りました。そのことが会社の発展、そして未来に続く一歩だと考えております。

今後社員一人一人がメーカーとしてのプライドを持ち、ワンチームとして取り組んで参りたいと存じます。最後に、組合員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 高砂商店 取締役営業本部長 高岡 佑輔

令和二年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当社は昨年滋賀バルブ協同組合の賛助会員の一人として入会させていただきました。事業内容は塗料販売会社であり、大阪に本社を構えております。また、近江八幡に滋賀営業所として営業拠点及び倉庫を構えて、塗料や溶剤、塗装機器、塗装設備等の販売を行っております。近年、環境問題が大きな話題となっておりますが、塗料業界も環境への負荷低減が求められ、塗料や塗装機、塗装設備の改良が進んでおります。本年も社員一同、滋賀バルブ協同組合の発展に協力し、よりよい塗料や塗装方法のご提案を心がける所存でございます。昨年同様に何卒、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、滋賀バルブ協同組合と会員、賛助会員の皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

『事務局より』

あけましておめでとうございます。
組合員の皆様には、お健やかに新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

ここに令和二年新春特別号をお届けします。今回は組合員十一名、賛助会員四名の方から原稿を頂戴し掲載しました。昨年は元号が令和になり、皆さんが書かれていたように大きなイベントも含め激動の年でありました。そして今年はいよいよ東京オリンピックの年です。昨年以上に感動を与えてくれる年になると思います。事務局も、賛助会員を含め五十三社となりました「大きな組織」の力添えを得て、業界の更なる発展のために、事業を展開していきたく思います。引き続き皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

本年もよろしく

お願い申し上げます

事務局一同